

## Chinese

### Introductory Chinese

(工((電B)1年))

・PROFESSOR/INSTITUTE OF SOCIO-ARTS AND SCIENCES

1 unit 後期 火 9・10

(平成 19 年度以前の授業科目:『中国語入門』) (平成 16 年度以前 (医保は 17 年度以前)の授業科目:『中国語(1)』)

**Target)** 前期で学んだ発音や基礎文法を生かし、そこから一步進んだ会話ができるように、日常生活に必要な中国語の表現方法や話し方を身に付ける。また、中国人の考え方、生活習慣、中国の文化、中国の社会事情を紹介し、隣国である中国に対する理解を深める。

**Outline)** テキストで新出単語・文法事項を学習し、発音練習をした後、教師と学生、あるいは学生同士による会話練習に最も重点を置き、会話運用能力を高めていく。また、中国に関係するビデオ教材や CD 等も適宜使用し、中国事情の紹介をする。

**Keyword)** *communication skill*, 中国語, 発音, 基礎文法

**Goal)** 基本文法と簡単な会話能力を身につけることを目標とする。

**Schedule)**

1. 復習
2. 2-3 第 7 課
3. 4-5 第 8 課
4. 6-7 第 9 課
5. 8 中間考察
6. 9-10 第 10 課
7. 11-12 第 11 課
8. 13-14 第 12 課
9. 15 期末試験
10. 16 総括授業

**Textbook)** 張偉雄, 黃麗華, 邵迎建 『活用中国語』(白帝社, 2010 年)2,600 円。

**Evaluation Criteria)** 小テスト, 期末試験, 授業への取り組み状況により総合的に評価する。

**Re-evaluation)** 有

**Message)** 授業中は恥ずかしがらず、積極的に声を出して練習しましょう。予習  
・復習時には、教科書付録の音声教材を活用して下さい。繰り返して聞くことで中国語の音とリズムに慣れ、「聴き取る能力」と「話す能力」を養うことができます。

**Contents)** <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=221266>